



第59号
新城市民病院総務課
新城市字北畑32-1
Tel 0536-23-7852
Fax 0536-22-2850

第3回病院祭
新城市民病院
ふれあい広場

こころの 交流会

平成23年11月5日(土) 10:00~15:00

新城市民病院内 入場無料 予約不要



ミニ健康講座

知って得する病気のお話!

消化器科/外科
婦人科/呼吸器内科
総合診療科/泌尿器科
上記の医師が
わかりやすくお話しします。



フード コーナー

カレーライス
五平餅
クッキー
パンの販売

たのしい イベント

箱の中身は何だろう!!
あなたの骨年齢はいくつ?
手術室体験
こどもスタジオナース
胃カメラ操作体験
ピエロの風船アート
など...



みんなで来てね★



お問い合わせは、「病院祭こころの交流会」実行委員会(☎22-2171)まで



やぐらを担ぐ中村医師・宮道医師



手筒花火を揚げる榛葉医師



子供みこしに参加する金子医師

10月9日(日)、富永神社例大祭に消化器科・外科の金子医師と総合診療科の宮道医師、榛葉医師、中村医師が参加しました。やぐらを担いだり、手筒花火などに参加し、市民と一緒に盛りに盛りました。

医師は市外から赴任されるケースが多く、伝統行事に参加することは市民との交流はもちろん、その地域の文化や歴史を知る良い機会です。

お祭りで市民と交流

インフルエンザ発生状況

H23年10月3日～10月9日

愛知県 (名古屋市含む)	38人
総数 (名古屋市を除く)	6人

H23年10月10日～10月16日

愛知県 (名古屋市含む)	46人
総数 (名古屋市を除く)	19人

鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザを除く
(愛知県感染症情報センターホームページより抜粋)

早めのインフルエンザ予防を!

インフルエンザは感染すると38度以上の高熱や頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感などの全身症状を引き起こします。症状は1週間程度で治まりますが、高齢者や妊娠28週以降の妊婦、持病がある方などは重症化や合併症を引き起こす可能性があります。怖い病気です。



例年、11月下旬から12月上旬に流行し始め、1月から3月にピークを迎えますが、すでに愛知県内で感染した患者が出始めています。早い時期からワクチン接種をするなどの予防対策を万全にしてシーズンを乗り切りましょう。

予防方法



インフルエンザの感染経路は飛沫感染によるものが多く、空気が乾燥すると感染力が強くなる特徴があります。そのため、次のような予防方法が効果的です。

- ・加湿器などを使って室内の湿度を保つ
- ・流行時にはできるだけ人ごみを避ける
- ・マスクを着用する
- ・外出後は必ずうがい、手洗いをする
- ・予防接種を行う

予防接種が始まっています

インフルエンザの予防接種が各医療機関で始まっています。予防接種は必ず感染しなくなるというものではありませんが、接種することで感染を防ぐ確率が高くなり、重症化を防いでくれます。予防接種は効果が現れるまで2週間程度かかります。11月末までに接種を終えておくとうれしいでしょう。



東日本大震災
特設写真真展

9月中旬から、1階喫茶室横の壁面を利用して、「病院職員から見た東日本大震災」と題して写真展を開催しています。



これは、実際に職員が被災地支援活動を行った現地の写真を多くの方にご覧いただくように長期間展示をしています。当院へお越しの際はぜひご覧ください。



1000年に1度と言われた「3.11東日本大震災」。あれから半年が過ぎようとしています。被災地では今なお、多くの支援を必要としています。私たちにできること、私たちが感じること。3.11の悲しい出来事が「ただ、遠く離れた場所で起こった悲劇」で終わらないように、時間の経過とともに皆さんの心から薄れてしまわないように。そんな想いから今回の写真展を企画しました。

ここに展示した写真は、新城市民病院の職員が実際に現地へ行き、お手伝いをさせていただいた風景です。

～転載：展示してあるポスターより～